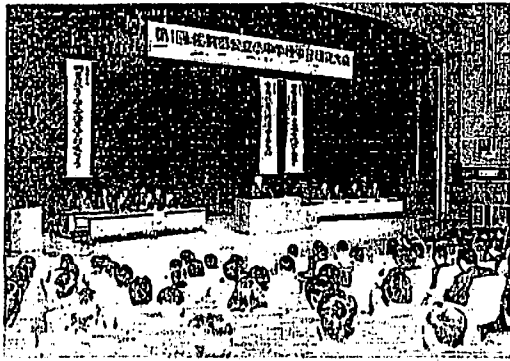


県事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会
第 1 号 平成9年3月17日
編集発行人：松田 晃

第一回 県事務研究大会開催される！

佐賀県公立小中学校事務研究会の設立なる
佐賀県の学校事務の歴史に新たな一ページ



研究大会には、県内事務職員として来賓及び県外参加者も合わせ約260名が集い、大いなる期待と熱意のなか、今村準備会副代表の言葉で幕を開けました。

まず、松田準備会代表より本研究会設立の主旨と目的を説明し、準備会からの理解と関係機関、関係団体からの理解、ご支援に対するお礼があいさつとしてなされました。また、ここに本研究会が設立となった喜びとともに、県下全事務職員の研究研修を目的とした県事研への結果を訴えられました。

未だとして、
佐賀県教育員 川久保啓明 様
県教育委員会参事 光武一行 様

明日の教育を担う学校事務を創造しよう

第一回佐賀県公立小中学校事務研究大会が右記大会テーマのもと、一月十七日佐賀市のアバンセで盛大に開催され、会場いっぱいに参加された方々の絶大なる拍手喝采により、佐賀県公立小中学校事務研究会がここに成立しました。

教育事務研究会会長 島津末次 様

小中学校校長会会長 岩本進一 様

県学校用品株式会社事務 江里口栄 様

が駆けつけて下さり、本研究会に對する期待と今後の運営への積極的支援の申出も、お祝いの言葉として皆様からいただきました。

その後の教育員代表光武一行様による県教育員代表は、県教委の期待する学校職員の一員としての事務職員の在り方が、『事務職員に期待されるもの』という話題でお話されました。大きく変化していく学校教育の中で、その教育活動の一環を担っているという大いなる役割を持ってほしいという趣旨に、私たち事務職員に對する県教委の期待の大きさをうかがい知ることができました。

全体協議会で、多岐にわたる小の平方澤西さん、三善幸中さんの近況について、皆さんが熱心に迎出され、また、これまでの経過報告が古川準備会事務局長よりなされました。次に、会則について、提案があり、これらみな皆さんの議論をどんどん吸収し

知識をしばって佐賀の事情にあったものにしてほしいとの考えが述べられました。これについて、「各地区ごとにおこなっている研修会と県事研のつながりはどうなっているのか」「事務職員は全県、必ず県事研の会員にならなくてはならないのか」「社会的地位の向上について準備会はどのように考えているのか」といった質問が出されました。

次に、役員、事業計画、予算について、提案があり、それに對する質問、回答の後、参加者全員の手挙動による承認を受け、佐賀県公立小中学校事務研究会が成立しました。

歴史をほさんで、京都市眼福寺町御前町に佐賀県公立小中学校事務研究会の事務所が、その過去、現在、未来という演進で、貴重なお話をいただきました。後のアンケートでも、「事務職員の間に立った大変有意義な講演内容に大きな感動とショックを受け、自分自身を振り返る機会を与えていただいた」という声が多く寄せられた。本当にすばらしいお話をしました。（講演内容は裏面に記載しています。）

最後に土井副代表が、本日の席をあげたばかりの本研究会への全事務職員の協力と、

県教委講演 事務職員に期待するもの

佐賀県教育委員 職員 課長 氏

参事

光武一行 氏

本日は、事務職員の皆さんも学校職員の一員であるという共通の認識を持っていただくことが必要ではないかというところを一部取り上げながら、私の所感なりを述べさせていただきます。

教員と比べて事務職員については、県全体での研修への取組という点で強かにも十分な取組をしていました。

事務職員というのは、学校を支えていく重要な職務の位置にあるということ（認識）を私たち自身も持っていますが、特に、学校の中で教員の方にとどのような取組があるかという点で、若干取組する面があります。

教員との連携を強固させるためにも、事務職員はもとより教員の中へ入り

込み、例えば備品の管理などについては、何をどうしているのかと強く指示をしていただくのが大事だと思います。

学校管理職の中では「事務長は事務をつかさどる」となっていますが、そのバックボーンには、教育活動の手をそでフォローしているというような大きな役割が必須だろうし、一般教員の方がそういう取組を持っていただくことが大事だろうと思います。また、お互いの認識のずれが生じている取組教員との職務の融合する部分については、勇躍し、奮闘していく必要があるのではないかと感じます。教育活動に問与している、教育活動の場たるものを担っているんだという自負と大いなる取組を持って

ただきたいと重ねてお願いいたします。

また、教育活動の一環を担っているという意識を持っていただくために、今後はどういう方向に変わっていくかという方向性を十分認識していただきたいと思います。

事務職員の皆さん方も本研究会がやっとスタートし、金銭的な補助ができたところであり、県教委平成7年度から、事務職員の研修会を始めたところですが、そういうところを私たちも踏まえながら、この会のさらなる発展を祈念いたしまして終わりたいと思います。ありがとうございました。

事務局員公募のお知らせ

県事研事務局員を募集しています！

熱意のある方、ぜひご応募下さい！
希望者は、県事研事務局員（春日小・古川）まで。



佐賀県大和町尼寺1429
☎ 0952 (62) 2128

今後の発展への期待を閉会のあいさつとし、冷めやまぬ熱意の中で、第一回佐賀県公立小中学校事務研究大会の幕を閉じました。

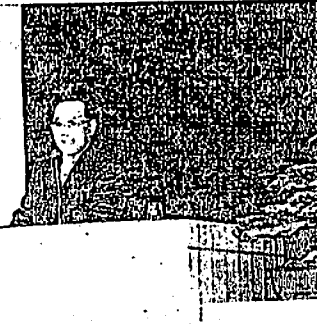
学校事務職員—その過去・現在・未来

京都市立米本小学校 副校長 榎爪良紀氏

京都市立米本小学校 副校長 榎爪良紀氏



事務を創造しよう



今日は、本誌におめでどうござい... 全国の研究会がある... 学校事務職員は、本誌に精進して...

いました。事務職員という職種そのものがなかったのです。こうい... 学校の業務は、自分の机上に...

きな想像力を持つていたのかそれを理解して... 学校を組織する全ての職能が...

私は、校長会、新任職員研修会... 「公務員職能を持ち、個性性が...

他の教職員に対する一定の発言も生きていくのです。『自己啓蒙』...

その仕事のやり方を変えなければなりません。私は、時は流れる。積み重ね...

